

目 次

特 別 講 演

欧米の稲作病害所見.....後 藤 和 夫 1

一 般 講 演

出穂後の経過日数と穂首節のイモチ病感染.....後藤和夫・平野喜代人 3
 環境の変化とイモチの発病, 第1報 風と枝梗イモチ.....後藤和夫・平野喜代人 5
 稲熱病菌の生態的分化現象に関する研究 第14報 単孢子解析 其の4.....鈴木橋雄・田村友一 7
 病原性を異にするイモチ病菌の2, 3の培地上における分生胞子の形成差異について
市川久雄・下山守人・近藤 租 8
 稲体の ash/N 係数と穂熱病発生に関する研究.....市川久雄・黒岩 匡・近藤 租 10
 穂イモチ病の面積的予察法.....市川久雄・原田敏男 11
 稲紋枯病防除の薬剤散布時期及び回数について
円城寺定男・沼田 巖・御園生尹・伊藤泰次・小高一信・田村安之 12
 稲紋枯病防除薬剤の薬害についての2, 3の観察.....安尾 俊・柳田騏策 14
 トピロウソウの人為的な卵態越冬について.....竹沢秀夫・二宮 融 15
 タテハマキに関する2, 3の観察について.....高野誠義・村山 宝 17
 イネヒメハモグリバエの異常発生について.....池田義久・早河広美 18
 茨城県における二化螟虫少発地帯の発生概況とその原因について.....高野十吾・高野誠義・高井 昭 19
 ニカメイチュウ2化期に対する防除薬剤.....高野光之丞・石川元一 21
 二化螟虫と稲苞虫同時防除上の薬剤の検討.....中村文男・早河広美・柳 武 22
 キューバの稲 ^{ホーバ}hoja blanca 病.....向 秀夫・飯田俊武 23
 稲の黒条萎縮病, 縞葉枯病および萎縮病の重複感染株の発病状況について.....小尾充雄・小菅喜久弥 24
 稲縞葉枯病のヒメトビウンカにおける経卵伝染—その後の実験経過—.....新 海 昭 25
 稲縞葉枯病に関する研究 第3報 ヒメトビウンカの春季移動について
熊沢隆義・杉本 堯・谷中清八・高久恒夫・尾田啓一 27
 稲縞葉枯病に関する研究 第4報 防除時期に関する新考察
熊沢隆義・杉本 堯・谷中清八・尾田啓一・安尾 俊 29
 稲縞葉枯病に関する研究 第5報 発病とヒメトビウンカの発生量について
熊沢隆義・杉本 堯・谷中清八・尾田啓一 30
 縞葉枯病防除時期についての一考察.....加 藤 義 親 31
 稲縞葉枯病の発病時期と被害 第2報 発病と株内および株間の補償作用について
安尾 俊・山口富夫・石井正義 34
 稲萎縮病の感染時期ならびに発病時期と被害との関係について.....安尾 俊・石井正義・山口富夫 35
 稲線虫心枯病に関する試験
 第2報 ロダシ酢酸エステル類による種子消毒の効果および有機燐剤による薬剤散布時期について
高野誠義・小森 昇 36
 落花生の連作と落花生ネマトーダの被害について.....市原伊助・高橋芳雄 38
 ニンジンの線虫防除について.....湯 浅 利 光 39
 ヤマトイモネコブセンチュウの防除について.....高野光之丞・石川元一 40
 ネコブセンチュウに対する新殺線虫剤の効果.....二宮 融・竹沢秀夫 41
 大麦縞萎縮病に関する研究 1. 伝搬様式.....安 正純・吉野正義 42
 千葉県における麦角病の発生について.....西 原 夏 樹 44
 小麦稈黒穂病に対する種子消毒剤の使用法.....安 正純・吉野正義 46
 大豆紫斑病の薬剤防除について.....渡辺竜雄・若井田正義 47
 落花生黒渋病, 褐斑病の防除について.....二宮 融・熊沢誠治・鍵渡徳次 48
 わが国の甘藷コルク病類似病害の伝染性について.....森 寛一・池上雅春 49
 薬剤によるハリガネムシ防除試験.....沢 田 肇 51
 胎生個体によるアブラムシの越冬.....田 中 正 52

ダイコンアブラムシによるナタネの被害	田中 正・武藤久信	53
陸稲の土壌害虫, 主にネアブラムシの防除効果について	熊沢隆義・尾田啓一	54
マメシキタイガによる被害に関する研究 (粒との関係)	高野誠義・高野十吾・君崎喜之助	56
エンドウゾウムシの防除について	関口計主・斉藤三喜男	58
オオゴボウゾウムシの防除について	関口計主・小高一信・伊藤泰次	59
各地産キュウリ黒星病菌の病原力の比較	高梨和雄・岩田吉人	60
トマトウイルス病の伝染経路について	森 寛 一	61
トマトエキ病の薬剤防除について	横浜正彦・阿部善三郎・本橋精一	63
白菜輪点病 (えそモザイク) についての知見	吉 岡 恒	65
ビニールハウス内のトマト病害に対する薬剤防除試験	円城寺定男・御園生尹	66
Actinopelte 属の分類学上の所属	富永時任・土屋行夫	67
キンセンカ炭疽病 (新称) の発生と防除について	沼田 巖・円城寺定男・庄司 弘・石田富夫	68
カーネーションの銹病防除について	市川久雄・黒岩 匡	69
普通噴霧器による濃厚液少量散布について	本橋精一・阿部善三郎・平野寿一	70
リンゴを害する吸収性夜蛾の防除法について	斉藤 敬・清水節夫・呉羽好三	71
リンゴハマニに対するテデオンの効果	呉羽好三・関谷一郎・早河広美	72
蚊幼虫の趨光性利用による Microbioassay に就いて	大塚清次・菅原寛夫・金子 武	73
キリウジカガンボの翅の運動並びに温度との関係について	正木 十二郎	75
ケラの産卵と孵化幼虫の脱出時期について	富 沢 純 士	77
サイメットの 2, 3 害虫に対する効果	田川憲夫・関谷一郎・呉羽好三	78
ハタネズミに対するラキシソンの致死量試験について	三坂和英・高野誠義	80
各種蔬菜害虫に対する新農薬の効果	本橋精一・永沢 実・平野寿一	81
本 会 記 事		82
賛助会員名簿		